

補助事業番号 19-52

補助事業名 平成 19 年度 自転車に関する普及啓発等補助事業

補助事業者名 財団法人 日本自転車普及協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

広く一般に対し、公営競技を健全な余暇活動として定着させるための施策についての調査研究、自転車競技のイメージアップを図るための広報事業並びに競技用自転車タイヤの品質向上、生産の合理化を図るための事業を実施し、自転車産業の振興に資することを目的とする。

(2) 具体的な実施内容・成果

〈実施内容〉

ア. 競技用自転車タイヤ等の生産供給の確保推進

競技用自転車タイヤ生産に必要な関連構成部品製造設備を整備した。

イ. 自転車競技等に関する調査研究

「平成 19 年度競輪定点観測」に係る調査研究について、専門の調査機関に委託して実施した。

また、平成 19 年 12 月 12 日(水)15 時より、東京都千代田区丸の内での東京国際フォーラムにおいて、有識者をパネリストに招いたシンポジウム「現代社会における自転車ライフを考える」を開催した。

さらに、シンポジウム終了後、平成 19 年 12 月 30 日(火)12 時 15 分より、NHK BS2においてシンポジウムの模様を収録した特別番組の放送を実施した。

ウ. 自転車競技に関する広報

広く一般社会に対して、自転車競技の普及啓発と興味関心の惹起を図るため、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等のマスコミ媒体を通じて各種サイクルスポーツの情報提供を実施したほか、競輪施行者と共同でナイター競輪開催告知、F I ・F II 競輪PR、スポーツ紙への出走表拡充広告掲載、テレビ放映等競輪活性化事業を実施した。

また、第 11 回ツアー・オブ・ジャパンの開催に際して、大阪・美濃・南信州・伊豆・東京の各ステージにおいて大型映像装置による場内実況中継を実施すると共に、NHK BS において大会総集編特別番組を放送した。

〈成果〉

ア. 競技用自転車タイヤ等の生産供給の確保推進

競輪用シームレスタイヤ生産に係る製造設備等が設置されたことにより、生産工程の効率化が得られ、競技用自転車タイヤに係る生産の安定化と品質の確保が得られた。

イ. 自転車競技等に関する調査研究

平成 19 年度競輪定点観測調査を実施したことにより、競輪場における顧客サービスの実態、

顧客のニーズに関するデータを収集・分析することができ、今後の経営分析力強化や経営安定化策の策定に役立つ基礎資料を得ることができた。

また、平成 19 年 12 月 12 日(水)15 時より、東京都千代田区丸の内での東京国際フォーラムにおいて、有識者をパネリストに招いたシンポジウム「現代社会における自転車ライフを考える」を開催した上で、シンポジウム終了後、平成 19 年 12 月 30 日(火)12 時 15 分より、NHK BS2においてシンポジウムの模様を収録した特別番組の放送を実施したことで、広く一般に対して自転車利用の普及啓発を行うことができた。

ウ. 自転車競技に関する広報

広く一般に向けてマスコミ媒体を通じて自転車競技に関する情報提供を実施することにより、一般視聴者へのサイクルスポーツへの理解と関心を高めることに寄与することができた。また、競輪施行者の行う広報PR事業及び活性化施策への支援事業、新聞(スポーツ紙・地方紙)、地上波テレビ等の媒体を用いた各種情報提供の拡充事業等を実施することにより、顧客サービスの強化及び来場促進を図ることができた。

3. 予想される事業実施効果

ア. 競技用自転車タイヤ等の生産供給の確保推進

生産設備の整備導入により、競技用自転車タイヤの生産の効率化と品質の確保向上が得られ、今後の自転車競技の円滑な運営に資するものと予想される。

イ. 自転車競技等に関する調査研究

競輪場における顧客サービスの実態、顧客のニーズに関するデータを収集・分析することができ、今後の経営分析力強化や経営安定化策の策定に役立つとともに、データを競輪施行者等関係者に広く周知することで、競輪事業の経営改善のための諸施策の一助となることが期待できる。

また、シンポジウムを開催し、特別番組をNHKにおいて放送したことにより、今後ますます利用が盛んとなることが予想される自転車の乗用環境整備改善のための普及啓発の一助となることが期待できる。

ウ. 自転車競技に関する広報

収支状況の悪化した競輪施行者の広報宣伝における負担の軽減を図り、先駆的な事業に取り組む意欲を喚起し、競輪事業のイメージアップ及び活性化が図られた。

4. 本事業により作成した印刷物

<自転車競技等に関する調査研究>

競輪定点観測調査／シンポジウム開催案内チラシ・ポスター／冊子「バイコロジー」

5. 補助事業者連絡先

団 体 名 : 財団法人 日本自転車普及協会

(ザイダンホウジン ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住 所 : 107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番3号

代 表 者 名 : 会長 阿部毅一郎(アベ キイチロウ)

担 当 部 署 : 事業第二部

担 当 者 名 : 事業第二部部长 竹内 紀文(タケウチ ノリフミ)

電 話 番 号 : 03-3585-7578

F A X 番 号 : 03-3586-9782

E - m a i l : gyou2@jifu.jp

U R L : <http://www.bpaj.or.jp/>